

THE ZEN STUDIES SOCIETY
禅スタデイ ソサイエティ

Special Meeting of the Board of Directors

禅スタデイ ソサイエティ 特別委員会の議事録

1993年2月6日

ニューヨーク市

出席： ジーン バンキエ、ジヨン ブレデイ、エド グラッシング、ヴァスケン カレイジャン、
デニス ケリー、XXXXXXXXXX、フラン ペリエロ、ウイルキ プレトリウス、 島野やすこ、
バーナード スピッツ。

欠席： リチャード ルデイン、島野 T. 栄道。

会議開始10時20分。

この特別会議の目的は大菩薩禅堂の副住持であり、首座でもある じゅんぼう デニス ケリーの正式辞職受諾のためです。(エド グラッシングは大菩薩禅堂の執行委員会を代表して、この会議に出席しております。)

ケリーは辞職状を読み上げ (コピー参照) さらに付け加えて、自分と老師とは似通った性格で、倫理、道徳の基準に欠けています。しかし、1992年10月、仏教伝法を授けられ仏法を守るという事がどのような事であるかに直面し、自らを正したいと思に至りました。しかし、栄道老師は同じ考えではなく、私は委員会に栄道老師を弟子を教育する仕事にはつかせないよう考慮して欲しいと要求しました。彼は以後3年間、煩惱と彼自身に内在する性格をただすため努力をいたします。

委員会は、彼の辞職を受諾、バーナード スピッツは委員会を代表して過去の彼の貢献を感謝し、将来の健康と福利を望むと言いました。

ミセス島野も彼女の夫に対する協力と親切を感謝し、彼の素晴らしい将来を願うと言いました。

ウイルキ プレトリウスは彼にこの組織に対する悪感情を公表するか、と質問しましたが、ケリーは再度念を押し、禅スタデイ ソサイエティや島野栄道を傷つける意思はないと断言、皆に挨拶をして去りました。

エド グラッシングは彼を禅スタデイ ソサイエティ委員会の大菩薩禅堂代表者として任命する事を主張する、本人、スーザン モーニングスター、リンダ ベイラー署名付きの大菩薩禅堂執行委員会の手紙を提出しました。(コピー参照)

執行委員会はデニス ケリーが寺を去っても寺を運営してゆく自信は十分であると保証し、現に最近はそのなしに運営管理が行われてきたと述べました。

栄道老師の帰国まで大菩薩禅堂ではグラッシングを臨時に首座と知客寮に任命し、改めて委員会と共に正式の任命を行います。

栄道老師が日本へ出発する一週間前に、大菩薩禅堂の執行委員会は彼に手紙を送り、女弟子と肉体関係を持った結果の告訴事件を誠実な態度で対処してほしい旨伝えました。これは老師が此の問題について了解しているものと解釈してよいと思います。彼らは老師を支持すると言いました。

非公式の会話で、グラッシングは1月に大菩薩禅堂でおこった事件と被害者の申し立てが、ケリーの知る所となり、此の結果彼は彼自身の人生の向上のために大菩薩禅堂を去ることになったいきさつを説明しました。問題の女性のボーイフレンドはかつて栄道老師と親密な間柄にあった人ですが僧伽、組織の利益のため、今後は彼とは公然の関係を保つよう要求しました。

栄道老師が日本から帰国したら、この会議で討議された問題を提示し、批判的な態度ではなく支持と配慮をもって彼を迎えようと決定しました。

多数決で結論に達したことは、栄道老師は禅スタディ ソサイエティで従来業務を続けるべきで、委員会は彼を住持として歓迎して迎えたいと決定しました。しかし、彼が業務に戻るためには、しばらくの時間と休暇が必要である事は明白です。

なお、ニューヨーク僧伽の人々や大菩薩禅堂の接心に参加した人々には、ケリーの辞職、エド グラッシングの臨時首座任命を通告し両寺では平常通り業務が行われるであろう事を保証するよう決定されました。(コピー参照) 大菩薩禅堂が責任をもって郵便物の配布を行います。

会議は、午後2時20分に散会となりました。

謹んで以上を提出します。

ウィルキ J. プレトリウス
書記

デニス ケリーの辞職状

1993年2月6日

禅スタディ ソサイエティ委員会
223東67街
ニューヨーク、ニューヨーク10021

親愛なる委員会の皆様

今日私は、深い悔いと大きな悲しみを込めて、ここに大菩薩禅堂の副住持と首座の地位を辞職します。

2週間の深い苦悶と真理探究の後、私は栄道老師とは二つの絶対に両立しない、完全に正反対の論点がわかりました。 その一つは仏教徒としての倫理、戒律で、もう一つは教えることの哲理です。

私は、すべての皆様に、とりわけ栄道老師に、過去五年この寺で勤めさせていただく機会を与えて下さった事を感謝いたします。 私が学び、成長し、深淵な変化をとげ得た事は、皆様の支持と信頼によるものであり、永遠に有り難く思うでしょう。

禅スタディ ソサイエティ 正法寺と大菩薩禅堂が繁栄と成長を続けられますよう、心から望みます。

敬具

じゅんぼうし デニス ケリー

Letter to Zen study Society from Seigan, Seiko and Tashi.
セイガン、セイコ、タシより 禅スタディ ソサイエティへの手紙

1993年2月6日

禅スタディ ソサイエティ委員会
223東67街
ニューヨーク、ニューヨーク 10021

親愛なる委員会の皆様

大菩薩禅堂の執行委員会は、じゅんぼうし デニス ケリーの辞職を受諾しました。彼の貢献、時には論争とも呼ぶべきものでしたが、寺院の成長に役立ちました。私達は彼が去って寂しくおもいます。

彼の突然の辞職で私達は大菩薩禅堂と僧伽のことが心配です。私達はこの転換期も寺院の一切の業務は平常どおり行われるであろう事、修行を続けることを保証します。

大菩薩禅堂には現在代表者がおりませんので、老師の帰国まで寺院運営に落ち度がないように、臨時の代表者としてセイガン エド グラッシングを任命するよう主張しました。

私達は老師の結制に置ける弟子との事件を知り悲しみ、困惑し、この反響をおそれています。私達は協力して老師を支持し誠実にこの問題を解決したいと願っています。私達は禅スタディ ソサイエティ正法寺と大菩薩禅堂のため、老師にできるだけ早く日本から帰ってほしいとねがっています。

委員会のメンバーは、まだ執行委員会の人々に会っておりません。私達は出来るだけ早く、この問題を解決するため、大菩薩禅堂で自己紹介、非公式に会議を開くようおねがいします。

敬具

セイガン、
セイコ、
タシ、

D R A F T
草稿

親愛なる：

禅スタディ ソサイエティ委員会は、1993年2月6日、じゅんぼうし デニス ケリーの大菩薩禅堂金剛寺の、副住職及び首座の地位を辞職したと発表しました。

私達は彼の過去における貢献を感謝し、彼の将来の健闘を祈ります。

栄道老師は今、日本で教務の仕事があり留守ですが、委員会はセイガン フドウ エド グラッシングを首座、知客寮に任命しました。

大菩薩禅堂、ニューヨーク禅堂両寺では、平常通り寺務をおこなっています。

真実の仏法が永続しますように、

むいん バーナード スピッツ
委員長
禅スタディ ソサイエティ, Inc.